



おかじま まさのぶ

岡島政信 議員

OKAJIMA Masanobu

Q. 学校施設改築・長寿命化計画は

A. 見直しは必要

豊山町の公共施設の中で、豊山中学校と豊山小学校が最も古い建物である。また、中学校は1校だけで、1963年に建設され、61年が経過している。

中学校施設整備基本構想会議で「目指すべき中学校のあり方」が示された。実施設計などを進めるにも5年程かかる。

今後、中学校の他にも50年が経過する公共施設があり、今の段階から改築を進める必要性を感じる。公共施設の改築は豊山町には1校しかない中学校から進めるべきだと考える。

◎ 今回小学校より中学校を先に改築計画に踏みきった背景は。

◎ 教育委員会事務局長

◎ A 本町の中学校は1校であることから、全ての生徒が等しく新しい校舎で学習できる環境を整備することが大切との考えの下、豊山中学校から改築計画を進めることとした。



築後 61 年の豊山中学校

◎ 今回、町長は中学校の建て替えを12年延ばすとマニフェストに掲げられた。学校施設改築・長寿命化計画の見直しが必要になると思うが、町長の考えは。

◎ A 町長

学校施設改築・長寿命化計画の見直しは必要だと思っている。

その策定の中でしっかりと計画を進めていきたい。

Q. スカイプールは来年稼働か

A. 来年度の営業再開は難しい

老朽化により多額の改修費が必要とされているスカイプールは、令和6年9月議会において、鈴木前町長が当初の「廃止」方針から「休止」に変更され、活用方法を検討することが示された。私は、プールを現地調査した結果、大幅な改修が必要と感じた。

◎ スカイプールが「休止」に至った背景について再確認する。

◎ A 教育委員会事務局長

スカイプールは、老朽化と町民利用率の低下から、一度は「廃止」が表明されたが、その後「休止」に方針を変更し、将来的な活用方法の検討が示唆された。



休場中のスカイプール

◎ スカイプールは来年度、安全性を確保した上で、稼働可能なのか。

◎ A 町長

安全性の確保や運営課題の解決に向けた準備が必要であることから、来年度、直ちに営業再開は、難しいと考える。

改修計画を進めつつ、安全性と財政健全性の両立を目指して対応していく。